

令和7年度定時総会・研修会を開催!

令和7年6月20日(金)国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都・渋谷区)にて



令和7年度定時総会が6月20日(金)に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都・渋谷区)にて開催されました。また、翌21日(土)には新体制に伴う研修会が同会場にて行われました。

20日の総会は、総正会員54名中、来場出席者50名、委任状による出席者4名による全54名の出席により開催されました。

議事進行は、議長に選出された岐阜県P.T.A連合会会長の阿部雄介氏により行われ、審議議案はすべて可決されました。

翌21日の研修会は、森山慎作専務理事の司会進行の下、新年度役員と出席者の対面方式により行われました。

この度、新たに制作された「公益社団法人日本PTA全国協議会の役員として知っておくべき重要な事項」についてまとめられた動画を視聴した後、太田会長より日本PTAの歴史を踏まえて「これからPTA」についての発表がされるなど、新体制でのスタートに相応しい充実した内容で研修会が実施されました。



茂里毅様

祝
辭

日本PTA全国協議会の定期総会が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては
日頃からPTA活動を通じて、学校・家庭・地域の架け橋として、子供たちの健全育成に御尽力いただいておりますことに、深く敬意を表しますとともに、心より感謝を申し上げます。

文部科学省では、学校運動協議会制度と地域学校協働活動の一体的取組の推進など、地域の実情に応じて、学校・家庭・地域の連携を深めていただく取組を推進しているところ、PTAの皆様には、学校・家庭・地域を中心的存在として、これらの活動に積極的に参画いただいていることと申します。

6月11日には、いわゆる

ます。すでに学校運営協議会制度に参画いただいているP.T.A.の皆様には、学校の働き方改革の推進にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、各地域の実情に応じたP.T.A活動を通じて子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現に向けて、引き続きお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

そのためにも、貴会におかれましては、組織としての健全な運営体制を整え社会からの信頼を確かなかつとのし、社会に根差した活動に御尽力されますことを心より期待申し上げます。

結びに、公益社団法人日本P.T.A全国協議会のますますの御発展と、皆様の一層の御活躍をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

ご来賓として、文部科学省総合教育政策局・茂里局長、地域学習推進課・高田課長、家庭教育支援室・片見室長をはじめ、ご来賓の皆様、ご臨席いただいたことをより感謝いたします。そして、全国より正会員であります協議会の皆様、日頃より各地でPTA活動を力強く、そしてあたたかく推進していくただいてることに心から敬意と感謝を申しあげます。

皆様も各報道によりご存じだと思いますが、S.N.Sによる色々な書き込み等もあり、さまざまなお意見をいただきました。

しかし、私たちは一つひとつの意見に対し真摯に向き合い日本P.T.Aはどうあるべきかを真剣に誠実に議論を重ねてきた一年間でもありました。

そして、3月31日付で日本P.T.Aの改善計画を提出させていただきました。いま、その改善計画をどのように実践するかという段階に入っております。全国のすべての会員が一丸となつて実践に取り組んで参りましたと考えております。本年度を皆さんと一緒に新たに日本P.T.Aの一年間としたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



公益社団法人日本PTA全国協議会
太田 敬介 会長

ご挨拶

心配どう迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫びを申し上げます。

令和7年度 定時総会ダイジェスト

1面

○祝辞、会長あいさつ

2面

○新役員の意気込み と抱負



対面方式で行われた研修会

副会長 溝口 憲治

を務めさせていただき、公益社団法人としての責任、PTA全国組織として果たすべき役割そして法人運営に伴うさまざまな課題など、大変多くのことを学ばせていただきました。

PTAは社会教育関係団体であり、団体ごとに担う役割が異なっています。日本PTAについては公益社団法人であり、公益事業を通して最終的には社会の発展に寄与することを目的としています。この目的を達成するための公益事業を執

副会長 宿南 洋一

をつなぐPTA活動の充実のため、誠心誠意取り組んでまいります。子供たちの未来は、私たち大人の「今」の選択にかかっています。公益社団法人としての使命を果たすためにも、内閣府からの勧告に真摯に向き合い、措置状況として報告した内容を踏まえた宿南洋一です。微力ではございますが、子供たちの健やかな成長と、家庭・学校・地域

常務理事 山下 泰幸

減少に加え、当会における不祥事を原因とした協議会からの退会もあり、会全体の予算は大変厳しくなってきています。こうした状況を踏まえ、信頼回復と公益的事业の在り方を見直し、知恵を絞つてまいります。

つきましては、これまでの活動や先人の教えから手ひつつ、現在に適合する新しい発想や見直しを行い、全国のPTA会員の皆様とともに、教育現場が抱える課題について情

報交換を行いながら、改善策を見出

ます。今後はその本質、意義を常に想い、努力により、社会教育その本質を守りながら、継続されてきており、そのことが日本の社会を底支えしているものと確信しています。今後はその本質、意義を常に想い、努力により、社会教育その本質を守りながら、継続されてきており、そのことが日本の社会を底支えしているものと確信してい

ます。今後はその本質、意義を常に想い、努力により、社会教育その本質を守りながら、継続されてきており、そのことが日本の社会を底支えしているものと確信してい

**副会長 宿南 洋一**

新年度を迎えるにあたり、全国PTA会員の皆様、日頃よりPTA活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。今年度は、確実に実行していく年となります。併せて、昨今、PTAに対する多様な声が寄せられる中、私たちは今こそ原点に立ち返り、新しく生まれた

副会長として迎える3年目は、これまでの経験を礎に、より踏み込んだ「実行」と「発信」を担う覚悟です。私たちPTAの活動は、單なる保護者の集まりにとどまらず、家庭・学校・地域と手を取り合い、子供たちの健やかな成長を支える「共に育む教育」の場です。変化する時代の中においても、伝統を尊重しながら、柔軟で風通しの良い組織づくりを推進してまいります。

多様な声が届き、活かされるPTAへ。誰もが「参加してよかったです」と思えるよう、温かく前向きな空気を育んでいくことを願っています。

「今こそ、変わらせる力を。」この想いを胸に、未来の子供たちが安心して学び合い、笑い合える社会の実現に向けて、皆さんと一緒に歩み出します。

専務理事を務めます宮崎県PTA連合会の森山慎作です。今年度は日本PTAの真価が問われる1年となります。全国各地からお寄せ

せいただいでいる注目と多くのご期待に、改めて身の引き締まる思いです。会員皆さまに寄り添った活動ができるよう、まずは協議会代表者のコミュニケーションを十分に取り、参加したくなる委員会や風通しの良い理事会・代表者会の運営、そしてスケールメリットを最大限に活用した事業展開を目指してまいります。公益法人の運営においては、透明性とガバナンスを維持しながら、業務執行に係る役

**会長 太田 敬介**

いります。公益社団法人日本PTA全国協議会は、過去、発生した不正事案を受け、令和6年度に内閣府より適正な法人運営を行なうべく各指摘を踏まえた勧告を受けました。私たちは、助言を真摯に受け止め、ガバナンスを重視した改善計画を策定し、今年度は、確実に実行していく年となります。併せて、昨今、PTAに対する多様な声が寄せられる中、私たちは今こそ原点に立ち返り、新しく生まれた

位置付けたいと思います。子供たちの健やかな育ちを支えるという本来の目的を大切にし、地域や学校との信頼関係を一つ一つ丁寧に築いてまいります。すべての保護者が安心して関われる開かれたPTAを、そして信頼を取り戻す日本PTAとして、皆様と共に歩んでまいりたいと思います。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

**副会長 網島 幸治**

令和7年度、副会長を仰せつかりました網島幸治です。PTAの先人たちが学校の教育活動の支援はもとより家庭教育環境が大きく変わる中、PTA不要論、任意加入問題、不登校対策・部活動地域展開も大きな課題です。PTAは、子供を守る組織として大

きい他の役員の皆様と手を携えあって会長を補佐しPTAの確かな歩みに尽力してまいります。どうか、よろしくお願いいたします。



定期総会の様子

新役員（二役）より、新体制で取り組む意気込みと抱負を伝えます。